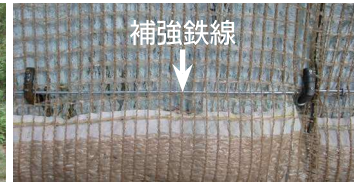


補強鉄線付 植生マット リョクセンマット

「補強鉄線」を使用した緑化基礎工用の植生マットです。



マット内での
補強鉄線の働き



補強鉄線



凹凸へのなじみと礫の固定

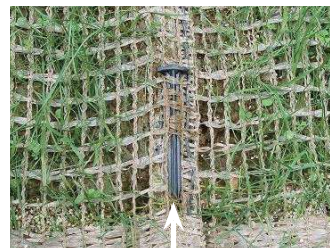
概要

- 独自に採用した2つの方法により、法面保護機能を高めた緑化基礎工用の植生マットです。 その主な効果は以下の通りです。

- ① 補強鉄線による法面の補強効果
- ② マットの左右連結による面的な保護効果



① 補強鉄線



② 左右連結

- 従来の植生マットでは対応が難しい以下の法面での採用に効果的です。

- ◆ 不安定な土砂や礫があり、それらの移動が心配される法面
- ◆ 凍上・凍結害や積雪害が心配される法面

※上記は緑化基礎工で適用可能な範囲に限ります。
緑化基礎工：植生工単独では施工困難な場合に、植生工施工のための環境を整備する工法。生育基盤の造成や安定化、気象条件の緩和等を図る。（道路土工・切土工・斜面安定工指針 平成21年度版 P204より引用）

特 長

● 「補強鉄線」は、剛性と地山への密着性に優れており、以下の効果を発揮します。

◆ 土砂や礫をその場に固定し、それらの移動を防止します。

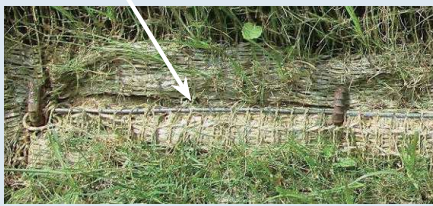


土砂や礫の移動を防止します。



地山の凹凸に容易になじみます。

◆ アンカー打設部にかかる集中荷重を分散し、マットの損傷やはがれを防止します。



〈補強鉄線あり〉

補強鉄線が、アンカー打設部にかかる集中荷重を分散するので、マットのはらみやアンカー打設部からのちぎれが発生していない。



〈補強鉄線なし〉

上段：礫の移動や積雪等により、マットに強い張力がかかると、マットのはらみが発生する。
下段：さらに張力が大きくなると、アンカー打設部がちぎれ、マットはがれの原因となる。

● 表面ネットの左右を連結することで、面的な保護効果をさらに高めています。



連結具

〈左右の連結あり〉

マットの左右を連結すると、隙間の発生を防止できるので、法面を面的に保護する効果を高めることができる。



〈左右の連結なし〉

礫の移動や積雪等により、マットに強い張力がかかると、マットの左右接続部に隙間を生じ、ここが弱線になることがある。

標準仕様表

基本となる植生マット	製品名	寸法 (幅×長さ)	補強鉄線規格	亀甲金網付	緑化能力の目安
厚層植生マット ガンリョクマット	6A型	1m×5m	【材質】 亜鉛メッキ鉄線(3種) SWMGS-3 φ3.2mm 両端カールナックル加工		植生基材吹付工 t=5cm 相当
	5A型	1m×8m			// t=3cm 相当
	K-6A型	1m×5m		○	// t=5cm 相当
	K-5A型	1m×8m		○	// t=3cm 相当
自然侵入促進型 植生マット (種子なし) イースターマット	L-2型	1m×5m	【設置間隔】 60cm		植生基材吹付工 t=5cm 相当
	M-2型	1m×8m			// t=3cm 相当
	K-L-2型	1m×5m		○	// t=5cm 相当
	K-M-2型	1m×8m		○	// t=3cm 相当

※亀甲金網付は、マットの表面に強い負荷がかかると予測される場合に使用すると効果的です。

(豪雪地帯で積雪の滑動害が著しい場合や、シカ等の獣害によるネットの損傷が懸念される場合等)

※標準仕様表に記載された植生基材吹付工の厚さは目安です。現地に合った製品は、適応地質を含めた諸条件により異なりますので、詳細は担当営業員にお問い合わせください。

(本製品は補強鉄線によって法面保護機能を高めているので、より厚い吹付厚さに対応可能な場合もあります)

製品写真



施工事例

リョクセンマット 6A型

東京都 民家裏の補強工事
地質：礫質土



施工直後



施工後7ヶ月

リョクセンマット 5A 型

北海道 海岸隣接法面 (積雪寒冷地)
地質: 玉石混じり土



施工前



施工後 1 ~ 3 ヶ月



リョクセンマット M-2 型 (自然侵入促進工)

群馬県 上信越高原国立公園
標高1,700m (積雪寒冷地) 地質: 礫質土



施工前



施工後 2 ヶ月



リョクセンマット M-2 型 (自然侵入促進工)

北海道 治山事業 (積雪寒冷地)
地質: 礫質土



施工前 (マット施工直後に越冬)



施工後 10 ヶ月



リョクセンマット L-2 型 (自然侵入促進工)

岐阜県 標高1,700m (積雪寒冷地)
地質: 礫質土~軟岩



施工直後



(越冬中)



施工後 7 ヶ月